

第 33 期

— 2015 —

第2四半期

Business
Report

2015.1.1-2015.6.30

株主
通信



人と科学のステキな未来へ

コスモ・バイオ株式会社



Inspiration for Life Science

人に害をもたらす微生物
～この撃退に有効な「ワクチン」の研究～

特集

証券コード：3386

世界のライフサイエンス研究を支援する専門商社

生命を科学する皆様のお役に立つこと それが私たちの使命です

ライフサイエンスの進歩・発展は、人々の生命と健康を守り、豊かな社会をもたらします。

私たちコスモ・バイオは、ライフサイエンス研究に関わる多くの研究者にとっての信頼できるパートナーを心がけ、事業を拡大してまいりました。

今後も、研究支援会社として、さらなる成長を目指すことで、より豊かな社会の実現に向け貢献してまいります。



トップインタビュー

Q 当第2四半期累計期間の業績評価と通期の見通しを教えてください。

A 利益確保に向けた取り組みにより、利益面が当初予想を大幅に上回り、増収および営業増益となりました。

事業環境は、当初予想のとおり、大学・公的研究機関における慎重な予算執行傾向と為替相場における円安傾向、さらに同業他社との販売競争が続く厳しい状況で推移しました。

当社は、こうした市場低迷と円安の環境に打ち勝つための施策として、適正な商品価格への是正、利益性の高い商品・サービスの導入・販売、在庫の充実による迅速出荷、輸出の拡大等に取り組みました。

この結果、当第2四半期累計期間の連結業績は、増収および営業増益となりました。特に、営業利益は、大幅な減益を予想していただけない、増益という結果を出すことができた

▶ 当第2四半期累計期間の連結業績 (単位:百万円)

	前第2四半期実績(累計)	当第2四半期(累計)		前年同期比増減	当初予想比増減
		当初予想(2月13日公表)	実績		
売上高	3,674	3,900	3,833	4.3%	△ 1.7%
営業利益	154	90	158	2.8%	76.5%
経常利益	250	172	258	3.3%	50.5%
四半期純利益	183	100	145	△ 21.0%	45.2%

▶ 通期の連結業績予想 (単位:百万円)

	前期実績	当期予想※	前年比
売上高	7,235	7,760	7.3%
営業利益	162	90	△ 44.5%
経常利益	285	270	△ 5.4%
当期純利益	201	160	△ 20.7%

※2015年8月10日に上方修正した数値です。

ことは、評価すべきポイントであると考えております。

下期も、上期と同様に利益重視の経営を展開してまいります。下期は一層の円安進行が想定されることから、通期業績については、当初予想を上回る修正予想を公表したものの、増収減益の見込みとなっております。

Q 大幅な利益改善の理由は何でしょうか？

A 特に、利益性の高い商品・サービスの導入・販売が営業増益に寄与したものと評価しております。

主に、前述の4つの施策が複合的に効果を発揮しました。

適正な商品価格への是正については、急激な円安進行のなかでも“研究者支援”という観点を重視して実施を踏みとどまってきましたが、原価の大幅な上昇もあり、止むなく当期より実施に踏み切りました。現在、お客様との契約内容や同業他社の動向を見定めながら順次行っている状況にあります。本格的な効果は、下期以降となり、完了には一定の時間を要するものと考えております。

代表取締役社長
笠松 敏明

トップインタビュー

利益性の高い商品・サービスの導入・販売については、当社の収益性向上にかなり寄与してきているものと評価しております。特に、従来から「コスモ・バイオ」ブランドの製品・サービスの拡充に努めてきた成果が出てまいりました。当社は、メーカー機能の強化を図るため、2013年に開発・製造子会社「株式会社プライマリーセル」を吸収合併し、「プライマリーセル事業部」への再編と、施設の移転・増設を行いました。これにより、自社製品や受託サービスの開発、大学等との共同研究などの展開に弾みがついております。

在庫の充実による迅速出荷についても、一定の在庫を持つべき商品を戦略的に絞り込み、仕入先の協力を得ながら在庫の拡充を図っております。加えて、当社の物流センターを2013年に移転・拡充し、自社内在庫の強化に取り組んでおります。さらに、この新たな物流体制が迅速出荷にも大きく貢献しております。

輸出の拡大については、海外販売代理店網が現在28社となり、ほぼ目標としていた体制の構築が完了しておりま

す。多くのエリアにおいて前年を上回る実績を上げておりますが、今後、この伸びをさらに加速させるべく、代理店への説明会の実施や研究者への同行など地道な取り組みを通じて、各代理店に対して当社商品のPRを充実させ、商品への理解を深め、研究者に対して積極的に拡販していただける状況を作っております。

Q

今後も利益を重視した経営を推し進める上で、最も重要なことは何ですか？

A

「プライマリーセル事業部」を中心としたメーカー機能の強化・拡充が不可欠であると考えております。

「プライマリーセル事業部」は、研究開発と自社オリジナル製品の製造という2つの役割を担っており、この「メーカー機能」を強化・拡充していくことが今後の利益拡大に直結するものと考えております。

同部門が注力している商材は、同業他社との差別化を図

自社製品 紹介

糖代謝測定キット 新製品

グルコース細胞内取込量測定キット
(広範囲、蛍光法)

グルコース細胞内取込量測定キット (広範囲、蛍光法)

近年世界で爆発的に増えている糖尿病の患者数に比例し、高血糖を抑え、コントロールする薬剤の研究の需要も高まっています。そのようななか、当社では、血糖値をコントロールする薬剤の研究などで行われる“細胞内へのグルコース取込量の測定”が可能なキットとして「2-デオキシグルコース(2DG)代謝速度測定キット」を2010年より販売してきました。そして2015年1月より、操作の簡便化および測定時間の短縮などの改良を加えた新製品を開発し、販売開始いたしました。

製薬会社をはじめ、食品会社、化粧品会社、また基礎研究の場でも広くご活用いただける製品です。

糖尿病

インスリンの作用が十分でないためブドウ糖が有効に使われず、血糖値が高くなっている状態。

治療 血糖値をコントロールして進展を抑制・合併症を予防

グルコース(=血糖)取込量を測定することで、さまざまな血糖値コントロールの薬剤開発に活用!



ることができる“ユニーク性”を有し、かつ世界のマーケットに受け入れられやすいものです。既に、可能性のある多くの案件が集まってきており、具体化に向け順次開発を進めております。

ただ、経営資源には当然限界がありますので、国内外の企業とのアライアンスを進めることで、利益性の高い商品・サービスの拡充を図ってまいります。たとえば、近年、研究者から専門性の高い試験内容に関するアウトソーシングのニーズが高まっており、当社は、アライアンス先との協力体制のもと、専門性の高い受託サービスの展開を強化しております。

Q 一方、「専門商社」としての在り方については、どのように考えていますか？

A “研究者のベストパートナー”であり続けることが、当社の使命であると考えております。

成長市場であるライフサイエンス分野における研究内容

共同開発 製品紹介

サンプル密閉式超音波破碎装置 新製品

BIORUPTOR® II (バイオラプター 2)

細胞や大腸菌からタンパク質やDNAを抽出する作業は、人の健康やさまざまな病気の解明において基礎的な研究活動の一つです。製造元※と新たに共同開発した「BIORUPTOR® II」は、従来品と比較し、さらに利便性を向上。専用冷水循環器を使用することで長時間低温を保つことができ、これによりサンプルの劣化を防ぎ、高品質なタンパク質やDNAを抽出することができます。研究者の新たな発見に寄与する製品です。

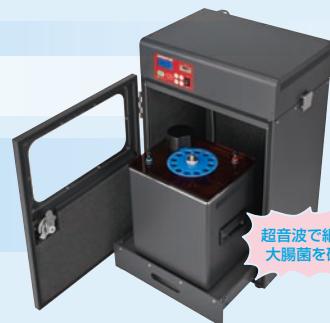
の細分化や当社仕入先数の増加などを背景に、取扱い商品数は現在約1,000万点に及んでおります。こうした状況に対応して当社は、2016年1月に新基幹システムを導入・稼働させ、研究者に対する商品情報・技術情報の提供スピードをアップさせるなど、顧客満足度の向上を図ってまいります。

商品数の増加は、管理コストの増加を招き、利益面にマイナスの影響を及ぼす可能性もありますが、一方で研究者が必要とする商品を的確かつ迅速にお届けすることが“研究者のベストパートナー”であり続けるための当社の使命であると考えており、専門商社として、今後も、「コスモ・バイオにはきっとある!」といった“頼りがい”を大切にしていきたいと思っております。

厳しい事業環境は続きますが、これからも、ライフサイエンス業界とともに発展・成長し、株主の皆様をはじめとしたステークホルダーの期待に応えてまいります。引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

この装置で抽出したタンパク質やDNAは、幅広いライフサイエンス分野で使用されています。また、工業分野でも広く活用されています。

- がん研究
- 再生医療
- 生活習慣病
- 食糧の品種改良
- カーボン
ナノチューブ
- 燃料電池用触媒
など



※製造元: 東湘電機株式会社

特集：人に害をもたらす微生物 ～この撃退に有効な「ワクチン」の研究～

200年以上前に誕生したワクチン。今、急速な進化を遂げつつあります。

病気には、遺伝子異常などによって臓器に何らかの疾患が生じるもの（がんなど）から、細菌、ウイルス、カビなどの微生物が体内に侵入することで発症する感染症など、さまざまなものがあります。今回は、感染症の予防に力を発揮する「ワクチン」を取り上げます。天然痘のワクチンが開発されてから200年以上が経過した現在、ワクチンは「予防医療」の要として、研究開発が急速に進んでいます。



そもそも、私たちのからだには優秀な「免疫システム」があるのよね？！

私たちの身の回りには目に見えない微生物が存在しています。こうした微生物が体内に侵入してくると、私たちのからだの「免疫システム」がはたらきます。まず、白血球などが“初期攻撃”を行います（＝自然免疫）。次に、この微生物に関する情報がリンパ球に伝えられて抗体が産生され、この“集中攻撃”によって完全に排除されます（＝獲得免疫）。

初めての感染では、獲得免疫がはたらくまでに1～2週間かかるため病気を発症してしまいますが、2回目以降では、初回の免疫記憶が残っているため、発病する前に微生物を撃退することができます。

このように、私たちのからだには優れた免疫システムが備わっていますが、この免疫システムをもってしても、病原性の高い微生物に感染してしまうと、重篤化したり、最悪の場合、死に至ることがあります。



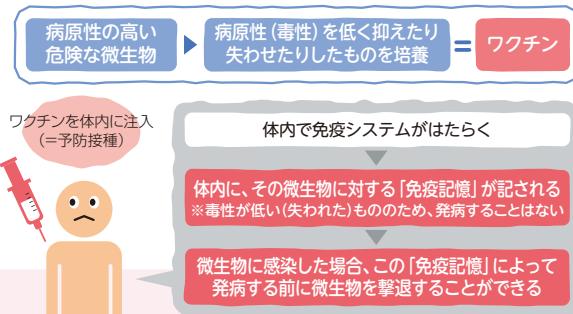
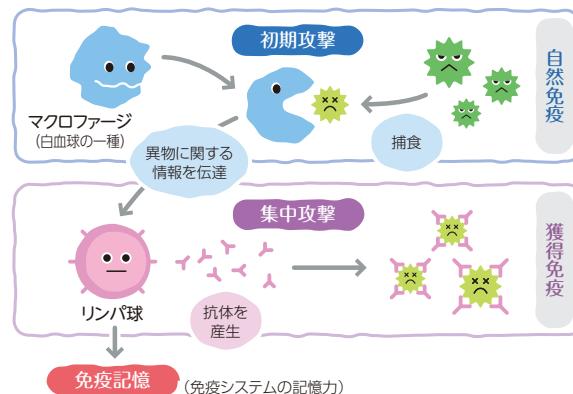
「ワクチン」は、私たちの「免疫システム」と関係があるの？

ワクチンは免疫システムの記憶力を利用したくすりです。病原性を低く抑えた微生物やその一部からできています。ワクチンを接種し、免疫システムに微生物の情報を事前に伝えることで、万一感染しても病気の発症を抑えたり、重篤化したりすることを予防します。

さまざまなワクチンの開発によって、私たち人類は、天然痘をはじめとした多くの感染症を克服してきました。

HIVのように、感染後、人の体の中でどんどん型を変化していくようなウイルスはワクチン開発が難しい感染症の一つです。しかしウイルス感染の仕組みの解明が進むことで、さまざまな感染症の治療に光明がさしつつあります。

▶ 免疫システムの概要





ワクチンの研究開発って今、どうなってるの？

ワクチンは、「予防医療」として、日本をはじめ世界各地で研究が盛んに行われているよ！

世界市場規模は
約3兆円。
全医薬品の
約3%を占める
大きな市場なんだ



世界のワクチン市場の進展



※「日本製薬工業協会」の公表資料をもとに、当社で一部加工してグラフを作成(数字は1ドル=120円として算出)

日本では、2016年度の研究重点項目の一つとして、エボラ出血熱やデング熱といった感染症のワクチン開発の予算拡大が決まったんだ。世界的に脅威となっているさまざまなウイルスが増加するなか、世界では、左下のグラフのように、ワクチンの開発・普及が拡大しているよ。

近年では、がんなど、感染症以外の病気に効果を発揮するワクチンの開発も進められている。たとえば、ウイルスと同様に、がんを“排除すべき異物”と認識させる「免疫記憶」を記すワクチンが開発できれば、がんの効果的な治療が可能になる日も遠くないかもしれない。

ワクチン開発が進む主な病症(一部)

- デング熱
- マラリア
- エボラ出血熱
- 帯状疱疹
- 感染性胃腸炎 (ノロウイルス)
- エイズ (HIV)
- 胃潰瘍・胃がん (ピロリ菌)
- 感染症以外
 - がん
 - アルツハイマー病
 - 花粉症

ワクチンは、ほかにも
いろんな可能性を
広げているよ！



地上では病気の原因がわからなかった感染症の解明を宇宙センターで行い、ワクチン開発に応用

養殖魚の健康維持
と食の安全のため
に、さかなへのワ
クチン接種が普及
拡大



コスモ・バイオは、ワクチン開発や感染症に対する創薬サポートサービスを提供しています。

ワクチンや感染症に対するくすりの開発には熟練した技術以外にも、危険なウイルスが研究施設の外部に拡散しない特別な研究室や、モデル動物の作製ノウハウなどが必要となります。

コスモ・バイオではサザンリサーチインスティテュート社と協力して強毒性鳥インフルエンザやデング熱を始め、さまざまな感染症に対する創薬やワクチン開発をサポートしています。

くすり
生まれるまで

基礎研究
2~3年

前臨床研究
3~5年

臨床研究
3~7年

申請・承認
1~2年

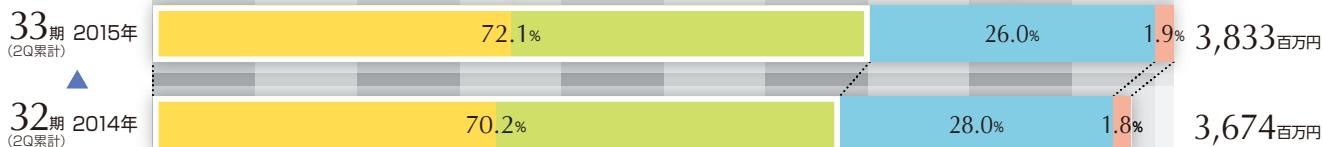
新薬誕生

当社のフォロー領域

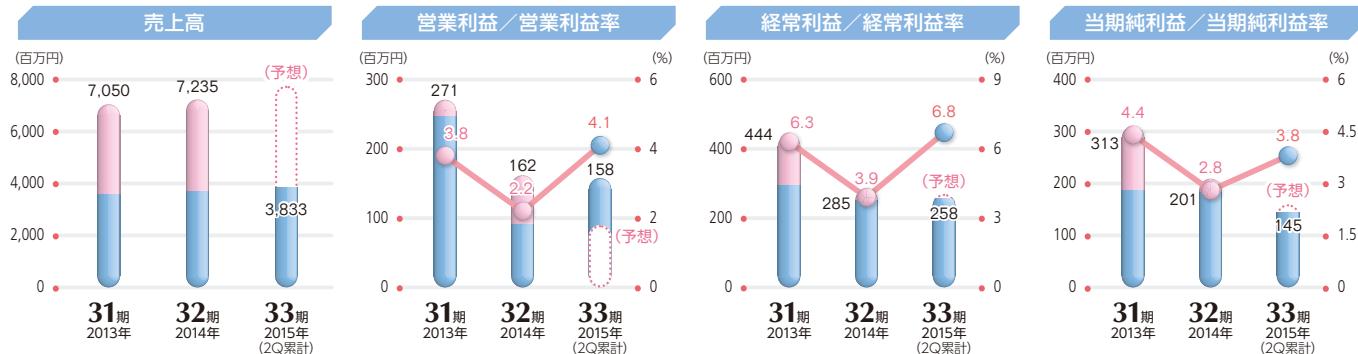


業績・財務のご報告(連結)

商品分類別連結売上高



● 通期 ● 2Q累計



営業の概況

ライフサイエンス研究の基礎研究分野市場の動向としては、依然として大学・公的研究機関において、慎重な予算執行の傾向が続き、また、同業他社との販売競争は価格面で厳しい状況が続いています。このような状況下、当社グループは適正な商品価格への是正、自社製

品を含む利益性の高い商品・サービスの導入・販売などに取り組んだ結果、当上期の売上高は前年同期比4.3%増となりました。一方、利益面では、販管費の節減に努め、営業利益は同2.8%増、経常利益は同3.3%増となりました。

▶ 連結貸借対照表 (要約)

(単位:百万円)

	前期末 2014年12月31日現在	当第2四半期末 2015年6月30日現在
流動資産	5,234	4,948
固定資産	2,927	2,963
資産合計	8,161	7,912
流動負債	1,130	886
固定負債	497	469
負債合計	1,628	1,356
株主資本	5,469	5,573
その他の包括利益累計額	579	562
少数株主持分	482	419
純資産合計	6,532	6,555
負債純資産合計	8,161	7,912

▶ 連結損益計算書 (要約)

(単位:百万円)

	前第2四半期累計 2014年1月1日～ 2014年6月30日	当第2四半期累計 2015年1月1日～ 2015年6月30日
売上高	3,674	3,833
売上総利益	1,272	1,220
営業利益	154	158
経常利益	250	258
四半期純利益	183	145

▶ 連結キャッシュ・フロー計算書 (要約)

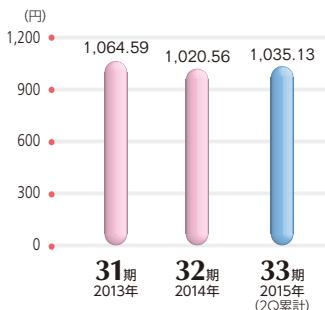
(単位:百万円)

	前第2四半期累計 2014年1月1日～ 2014年6月30日	当第2四半期累計 2015年1月1日～ 2015年6月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	543	343
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 92	△ 65
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 74	△ 116
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,812	1,546

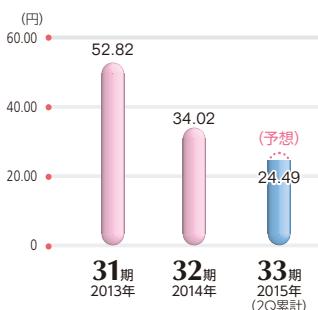
自己資本/自己資本比率



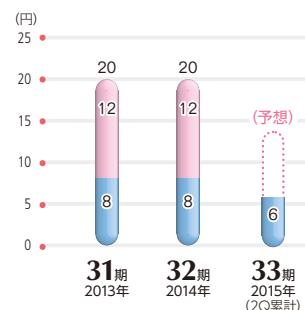
1株当たり純資産



1株当たり当期純利益



1株当たり配当金



株主還元

当社では、株主の皆様への利益還元を経営の重要事項の一つと認識しております。当社の株式を長期的かつ安定的に保有していただくため、安定配当を行っていくことを念頭に置き、配当性向を重視しつつ、今後の収益状況の見通しなどを総合的に勘案して決定すべきもの

と考えています。

当期の中間配当は、1株当たり6円とさせていただきます。期末配当は8円(年間配当14円)を予想しています。

トピックス

Topics

1

「個人投資家向け会社説明会（東京）」を開催

2015年4月に、読売新聞東京本社広告局・インベストメントブリッジ主催の読売ブリッジサロンにおいて会社説明会を行いました。



▶ 当社ウェブにて、説明会の資料、動画およびQ&Aがご覧いただけます。

ホーム > IR情報 > 個人投資家向け会社説明会

<http://www.cosmobio.co.jp/ir/individual/>

Topics

2

日本再生医療学会にてランチョンセミナーを開催



2015年3月、第14回日本再生医療学会にてランチョンセミナーを行いました。

最新の再生医療研究情報を相互に交換する場として開催された本学会には、多くの研究者が参加。そのなかで当社は、再生医療分野での主力仕入先であるバイオリジカルインダストリーズ社商品の活用事例を紹介しました。

Topics

3

独占販売契約締結について

当社は、商社としての機能強化をめざして、国内外の優れた企業との独占販売契約の締結を推進しています。当上期においては、以下2件の契約を締結しました。

▶ バイオフォレスト社

BIO FOREST Co.,Ltd

2015年1月、バイオフォレスト社と、当社が新発売する「三次元細胞培養容器 VECCELL®384well Gプレート」について独占販売契約を締結しました。

生体内に近い細胞機能を再現する同商品は、動物実験を大幅に削減し、新薬開発にかかる期間短縮、かつコスト削減が見込まれる画期的な商品です。

▶ インジニアス・ターゲティング・ラボラトリー社

ingenious targeting laboratory

2015年1月、インジニアス・ターゲティング・ラボラトリー社と、当社が提供する受託サービスについて日本国内における独占販売代理店契約を締結しました。

当社は最新の遺伝子改変技術を使用した受託サービスを展開しています。受託サービスのラインアップを強化することで研究者のニーズに応えることができます。

株主の皆様へ

株主の皆様のご質問にお答えします

Q コスモ・バイオではどのようなCSR活動を行っているのですか。

A 当社では、「ライフサイエンスの進歩・発展に貢献する」ことを第一の会社理念に掲げています。そしてその理念に基づいた、次の世代を担う“明日の科学者”の応援を、CSR活動の一環として行っています。

▶ 活動事例

「フード&メディカルイノベーション国際拠点」 オープニングイベントに参加

2015年5月29日～6月10日、北海道大学キャンパス内の「フード&メディカルイノベーション国際拠点(FMI)」においてオープニングイベントが開催され、当社の腸内フローラ解析に関するパネルを展示しました。

また、6月6日に開催された『親子で楽しむ科学体験!!』にて、消化管体験ツアーのサポートもしました。



展示した
腸内フローラ
解析に関する
パネル

消化管
体験ツアー
の子供用
トンネル



※写真提供: 消化管体験ツアー実行委員会

大学等が行う 「公開講座」に支援

大学等が行う公開講座に協賛し、ライフサイエンスの面白さと楽しさを伝えるお手伝いを10年以上にわたり支援しています。

2015年度は、9団体の公開講座に支援しています。

合成生物学の大会 「iGEM」に参加する 大学のチームを支援

iGEM マサチューセッツ工科大学にて開催される合成生物学の国際大会「iGEM」。

2015年度の大会においては、参加する日本チームのうち、7団体に当社が支援しています。

株主様アンケートのお願い

当社では、株主の皆様からいただいたご意見・ご要望を、今後の経営およびIR活動に活かしたいと考えております。つきましては、株主様アンケートを実施させていただきますので、お手数ですが、同封のはがきに所定の内容をご記入いただき、ご投函くださいますようお願い申し上げます。

ご回答いただきました集計結果の一部につきましては、当社ウェブに掲載するとともに、次の株主通信にてご報告させていただく予定です。

アンケート
メット 2015年12月31日

なお、お寄せいただきました情報は、厳重に管理し、正当な目的以外には利用いたしません。

表紙について



地球上には無数の命と無限の可能性があります。私たちコスモ・バイオは、この命の神秘を解き明かすライフサイエンスを支援することで、人と科学のステキな未来を創造していきます。今回の表紙は、色とりどりな線の流れとそこに重なる円に多様な命のイメージを重ね、ライフサイエンスの大きな可能性を表現しています。

会社概要

(2015年6月30日現在)

商号 コスモ・バイオ株式会社
 設立 1983年8月25日
 所在地 〒135-0016
 東京都江東区東陽二丁目2番20号 東陽駅前ビル
 資本金 918百万円
 事業内容 ライフサイエンスに関する研究用試薬、機器、
 臨床検査薬の仕入れ(一部自社製造)及び国内・海外販売
 従業員数 連結:122名 個別:93名

役員

(2015年6月30日現在)

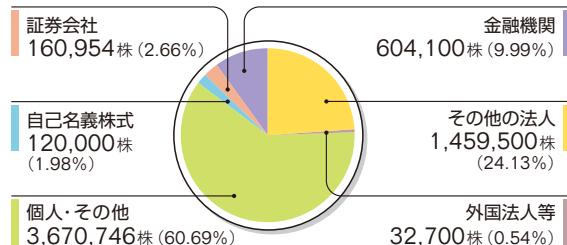
代表取締役社長 笠松 敏明
 専務取締役 櫻井 治久
 取締役 世良 伸也
 取締役 牧 与志幸
 取締役 島村 和也*
 常勤監査役 中野 重則*
 監査役 佐々木 治雄*
 監査役 深見 克俊* ※は社外役員

株式の状況

(2015年6月30日現在)

発行可能株式総数.....18,361,600株
 発行済株式の総数
 (自己株式120,000株を含む).....6,048,000株
 株主数.....6,006名

所有者別株式分布状況



大株主の状況

株主名	持株数(株)	議決権比率(%)
東京中小企業投資育成株式会社	1,152,000	19.43
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 コスモ石油 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	576,000	9.72
コスモ・バイオ従業員持株会	159,100	2.68
田中 知	156,800	2.65
高木 勇次	148,000	2.50
原田 正憲	104,500	1.76
株式会社ヤクルト本社	100,400	1.69
新日本空調株式会社	89,600	1.51
鈴木 由美子	82,300	1.39
船戸 俊明	75,400	1.27

(注) 議決権比率は、自己株式120,000株を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度 1月1日から12月31日まで 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 定時株主総会 毎年3月開催 同お問い合わせ先 同証券代行部 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
 基準日 12月31日 公告方法 Tel. 0120-232-711
 剰余金の 6月30日、12月31日 電子公告 <http://www.cosmobio.co.jp/>
 配当の基準日 (ただし、電子公告によることができない事故その他 やむを得ない事由が生じた場合は、東京都において 発行する日本経済新聞に掲載して行います。)
 単元株式数 100株 上場証券取引所 東京証券取引所 JASDAQ スタンダード
 証券コード 3386



株式に関するお問い合わせ先 ▶ 住所変更等、株式に関する手続き・お問い合わせは、お取引の証券会社へお願いいたします。



人と科学のステキな未来へ
コスモ・バイオ株式会社

〒135-0016
 東京都江東区東陽二丁目2番20号 東陽駅前ビル
 Tel. 03-5632-9600 Fax. 03-5632-9613